

医用画像表示モニター CL-S200

北里大学メディカルセンター 様（埼玉県北本市）



情報システム管理課

田中 雄一 氏（写真左）

放射線部 診療放射線技師

櫻井 朋幸 氏（写真右）

“i3 シリーズ” 200 万画素 21.3 型カラー液晶モニター CL-S200 合計 50 台をリプレイス導入

北里大学メディカルセンターは、1989 年に社団法人北里研究所 北里研究所メディカルセンター病院として開院以来、地域医療支援病院、災害拠点病院及び臨床研修指定病院の指定を受け、埼玉県中央地域の医療圏における地域医療の中核を担っています。同院は 2019 年に JVC ブランド最新 “i3 シリーズ” の 200 万画素カラー液晶モニター CL-S200 合計 50 台をリプレイス導入されました。今回、放射線部 診療放射線技師の櫻井朋幸氏、情報システム管理課の田中雄一氏に導入後の状況についてお話を伺いました。

導入の背景

他社モニターと比較して JVC を選定、一元管理できるソフトが魅力。

- Q：貴院ではフィルムレス化にいち早く取り組まれてきたと伺いましたが、フィルムからモニター読影になるまでの経緯を教えてください。
- A：放射線画像サーバーを導入した 2000 年に JVC(当時 :TOTOKU ブランド) の 300 万画素モノクロ液晶モニターを導入し、高精細モニターによる読影が始まりました。その後、院内にフィルムレス化推進ワーキンググループを設置し 2008 年に 200 万画素カラーモニター (CCL256i2) を導入し、全館完全フィルムレス運用をスタートしました。フィルムレスへの移行に当たり、外来病棟、手術室等、院内に JVC モニターを順次設置していきました。選定時には数社のモニタを並べ、実際にデモ比較をしてドクターにアンケートを取り、JVC のモニターを選定しました。(田中氏)
- Q：2000 年から継続して JVC モニターをご使用いただいておりますが、今回のモニター更新で JVC を選定した理由を教えてください。
- A：前回モニター (CCL256i2) を導入してから 7 年経ち、モニターの入れ替え時期が近づいてきたので、電子カルテを更新するタイミングに合わせて既存モニターのリプレイスを考えていました。今回再び JVC モニターを選定した理由ですが、もちろん今までの実績やコストも重要なファクターではありましたが、一元管理できる JVC のソフト (PM Medivisor) が非常に魅力的で、そのソフトを使ってモニターの引き継ぎが簡単にできるという点が選定した大きな理由です。(櫻井氏)

導入システム

高輝度・高コントラストタイプの 200 万画素 21.3 型カラー液晶モニター CL-S200 50 台を診察室 23 室 (23 台) 病棟 10 部屋 (10 台) 放射線部 (3 台) 手術室 7 部屋 (14 台) に設置。

- ・モノクロ画像診断時に DICOM Part14 で定義されるグレースケール階調を経年変化に影響されることなく高精度に再現。
- ・JVC 独自のダイナミックガンマ機能で、画面内に混在するモノクロ画像とカラー画像をピクセル単位で自動的に識別し、それぞれの画像に最適な階調でリアルタイム表示を実現。

導入の効果

ダイナミックガンマ機能が非常に有効。画質と省スペースに配慮されたデザインも満足。

Q：今回導入いただいた CL-S200 は、モノクロやカラー画像をピクセル単位で識別して最適な階調で医用画像を表示するダイナミックガンマ機能を搭載しています。マルチモダリティ化が進んでいる現代には欠かせない機能だと思いますが、使用感はいかがですか？

A：ダイナミックガンマ機能は非常に良いです。今までは内視鏡画像や RI 画像などを適切な階調で表示しきれないところがありました。それを気にせず描出できます。画像を作る放射線技師からすると、大変便利な機能です。(櫻井氏)

Q：以前のモデルからコントラスト比がさらに向上しています。(1400:1→1800:1) 実際にお使いいただいた上で、画質はいかがでしょう？

A：コントラストが良くなっており、とても見やすいです。感覚的な表現になりますが、シャキッとしていてエッジが効いているような感じがします。(櫻井氏)

Q：i3 シリーズでデザインを一新し、スタンドベースもより一層小型になり、薄型・軽量化を実現しました。デザインが変わった印象や感じた点についてお聞かせください。

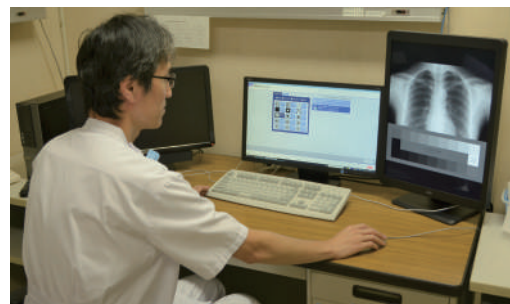
A：スリムなデザインで設置自由度が増し、作業スペースが広く使えるようになりました。また電源を内蔵しているため、AC アダプタの置き場所も困らないのでその点も良いですね。放射線部にも CL-S200 が導入されましたが、見た目も非常に良い印象です。(櫻井氏)



精度管理業務の効率が向上。

Q：精度管理の状況についてお聞かせください。

A：読影端末にはモニター QA(Quality Assurance) 用のアプリケーションソフト (QA Medivisor Agent) をインストールして管理しています。輝度は知らないうちに落ちてくるので、キャリブレーション等の管理をソフトで自動的に行ってくれるのは非常に助かります。院内に点在している複数のモニターは、毎朝 PM Medivisor を立ち上げて状態をチェックしています。モニター単体ではマンモグラフィの端末を毎日精度管理しています。(櫻井氏)



Q：ソフトウェアの使い勝手はいかがですか？

A：QA Medivisor Agent は、従来の精度管理ソフトからよりグラフィカルになり、字も大きくなったのでさらに使いやすくなりました。PM Medivisor は Web ブラウザアプリケーションなので、病院内のどこにいても閲覧でき、モニターの状態をすぐ確認出来ますので、放射線部、情報システム管理課で簡単に情報共有ができ、とても便利です。(櫻井氏)

Q：JVC ケンウッドに期待することを教えてください。

A：今回の導入でもモニター・ソフトウェア共に高品質で、全く問題は起きませんでした。事前の動作確認から現場設置までご協力いただき、JVC ケンウッドの対応に大変満足しています。(田中氏)

A：精度管理ソフトでは、我々ユーザーがリクエストした内容を常に取り入れながらソフトウェアアップデートに反映して頂けているので、とても満足しています。(櫻井氏)

ありがとうございました。(2019 年 9 月取材)

User's Profile



北里大学メディカルセンターは、1989 年 4 月北里研究所創立 75 周年に、地域医療の中核として高度かつ先進的な医療を行うと同時に、地域文化の発信基地としての使命を受け持つべく、「社団法人北里研究所 北里研究所メディカルセンター病院」として開院しました。2003 年には地域医療支援病院、災害拠点病院及び臨床研修指定病院の指定も受け、地域医療の更なる発展に努めています。

北里大学メディカルセンター

<https://www.kitasato-u.ac.jp/kmc-hp/>

本製品に関するお問い合わせ

株式会社 JVC ケンウッド

ヘルスケア事業部 営業部

【本社】〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12 TEL:045-450-1890 FAX:045-450-1926

【大阪】〒553-0002 大阪府大阪市福島区鷺洲 1-11-19 大阪福島セントラルビル 5 階 TEL:06-6442-3171 FAX:06-6442-3182

http://www.jvckenwood.com/pro/healthcare_sys